

# 栃木県生協連・2008年度3月定例報告

2009年3月13日  
栃木県連 専務 鎌柄

## (1) 2月活動日誌

2月2日	月	宇都宮市食育フェア実行委員会、県連・福祉世話人会
2月3日	火	中央地連・運営委員会、中央地連・理事長専務会議
2月5日	木	足利市長訪問
2月6日	金	県レジ袋削減協議会、全漁連審査会
2月9日	月	地産地消を考える会
2月10日	火	県連・くらし部会、栃木県・食の安全安心推進会議
2月12日	木	県連・職域部会
2月14日	土	職域生協合同住宅相談会
2月15日	日	NPO とちぎ消費生活サポートネット・講演会
2月16日	月	とちぎ食育推進連絡会
2月17日	火	神奈川県連小林会長大臣受賞祝う会
2月18日	水	宇都宮市・食肉衛生推進連絡会
2月19日	木	県連・理事会
2月20日	金	食肉公正協・総会
2月23日	月	宇都宮市・食品安全懇話会
2月24日	火	群馬県連・厚生労働大臣受賞祝う会
2月25日	水	中央地連・県連責任者会議
2月26日	木	栃木労生協・理事会、消費者ネットワーク・幹事会
2月27日	金	県連・新しい生協会計実務学習会

## (2) 2月定例理事会

19日定例理事会を開催し、2009年度の情勢見通し、2009年度計画の骨子案、2009年度の県連財政及び会費案、第40回通常総会の関連事項（会員別代議員数、役員推薦委員の互選など）、40周年事業企画について、提案し今回の理事会で確認いただくものは確認され、会員に持ち帰って検討いただくものは、会費案などがあつた。

会員交流では、とちぎコープの五味渕理事長から2008年度の決算見込みと活動の振り返り、2009年度計画に向けて、信頼回復と事業構造改革を進めると年としての位置づけが報告された。全労済栃木県本部の川崎専務からは、厳しい経営状況の中、全労済ガイドを基に、今後「お客様の声」にもとづく業務改善の見直しや保障の点検活動を行うとの報告がされた。中央労金栃木県本部の坂上副部長からは現在、全国合併『日本労金』の設立に向けて、準備をしているとの報告がされ、また、3月から茨城県本部に異動され、新任は小古山稔副本部長に交代される旨の挨拶があつた。

## (3) 2月の部会活動

10日県連くらし部会では、12月に出展したECOテック&ライフ2008の振り返りを行った。12月12～13日2ブースを借りて、3地域生協のエコライフチェックや、アクリルたわしの手作り体験、生協商品から作ったゴミ袋の展示などを行ったが、

次年度に繋げる意味で、具体的な意見が出された。12月22日の食と農をつなげる会の振り返りも行った。次年度計画づくりに向けて、次回検討することとした。

12日の職域部会は、ブリヂストン那須グループ生協に会場を設けていただき、2回目の職域部会を開催した。参加者は、やや限られたものの会員生協を訪問することで、事業的にも自動車関連の操業減などの厳しい中でも、健闘され黒字経営を維持されていることが分かった。

1月30日石油部会が開催され、市況の変化の中、2月5日からレギュラーガソリン100円→102円等の価格改定が行われた。その後2月16日持ち回りで、価格改定が確認され2月20日から、レギュラーガソリン102円→105円等の価格改定が行われた。

#### (4) 県連・新しい生協会計実務学習会

27日、日本生協連会員支援本部遠藤修二氏に講師をお願いし、改正生協法施行規則の中の会計及び決算関係書類について、学習した。7会員20名の参加があり、中央地連学習会に続いて参加された会員もあった。4月1日が新事業年度の会員は、2008年度から新様式での機関運営、決算関係書類を整備する必要があり、準備を急ぐ必要がある。

(日生協会員支援本部の  
遠藤講師と参加者)



#### (5) 食の安全の取り組み

10日とちぎ食の安全安心推進会議、23日宇都宮市の「食品安全懇話会」が開催され、それぞれ平成20年度の報告と21年度の重点課題（栃木県の場合、食品衛生監視指導計画案、宇都宮市の場合、食品安全条例に基づく食品安全推進計画素案が示された。）栃木県食品衛生監視指導計画に対しては、3月に入りネットワークとしてパブコメを提出した。

4日とちぎ食の安全ネットワーク「全体会」を開催し、今回の学習テーマとして「食品のかびとかび毒」について、宇都宮大学の宇田靖教授に講師をお願いし、身近なかびについて、かびの特性、かび毒とアフラトキシンなどの規制について、お話いただいた。

また、全体会では2008年度の振り返りと2009年度の計画づくりに向けての協議、日程案・予算案については確認いただいた。

#### (6) 消費者課題について

15日（日）NPOとちぎ消費生活サポートネット主催の「消費者問題講演会」が開催された。明治学院大学法学部の圓山茂夫教授から、改正された割賦販売法、特定商取引法について、1日かけて講演がされた。県内各地の相談員さんなど、自主的に学習会に参加され、具体的な相談に生かそうと、聞かれている姿勢が伺えた。

26日とちぎ消費者ネットワーク幹事会では、1月29日の消費者シンポジウムの振り返りと3月4日に予定している栃木県くらし安全安心課との意見交換会について、事前の検討を行った。

また、2009年度の計画づくりに向けて意見を寄せていただくこととした。

## (7) 地産地消を考える会

9日茨城県のJAやさとの産直課を訪問し、JAやさとの生協などとの産直の歴史的な取り組みを、対外対策部長の柴山さんにお伺いした。地域的に中山間地もあり野菜、畜産、鶏卵など多品目の生産と、その受け入れが可能な産直先、また、販売先の確保、加工工場（納豆、鶏肉、精米）や直売所、やさと温泉ゆりの郷（温泉・レストラン・直売所）の運営など、幅広い事業領域を持たれている。都市の消費者・組合員との体験交流、都会から有機農業の新規就農者の支援なども、近年意識的に手掛けられている。

平成19年度末で、組合員数規模（正・准組合員5,170名）、から見ると下位と言われていたが、茨城県内JAでは5番目の事業規模（購買31億円、販売32億円、加工5億円、生産施設利用2億円、各種4億円、生活関連4億円）を持たれていることから、重層的な事業を通して実績を実現されていることが分かった。

参加者は、9名と少なかったが、内容は参考になるものが多かった。

（JAやさとの柴山部長から説明をいただいた。）



## (8) 日生協関連

2008年度1月までの全国74地域生協の累計実績は、総供給高の前年比99.6%、経常剰余が前年比58.9%、率で1%。共済を除く経常剰余が前年比35.3%、率で0.4%。個配の利用単価で見ると1月までの累計で週当たり6,255円、前年比98.3%→1月単月では6,233円、96.1%と低下傾向が見られる。2008年度の全体累計では、前年割れは、ほぼ確実な状況になっている。

3日、日生協中央地連運営委員会では、日本生協連の第59回総会の関連事項、2009年度活動方針1次案、生協における内部統制構築提起など報告と協議がされた。

運営委員会後の理事長・専務会議では、消費者行政の課題が取り上げられ、明治学院大学法学部の圓山茂夫教授と全国消団連の阿南事務局長から講演が行われた。

## (9) 4～5月の課題

1. 第1四半期の取り組みの具体化と推進
2. 3～4月部会活動（石油部会、職域部会、暮らし部会、福祉事業委員会）
3. 3～4月ネットワーク活動（食の安全、消費者課題、地産地消を考える会、食と農つなげる会）の推進
4. 2009年度計画・予算の策定
5. 第40回通常総会関連事項の準備

(3月下旬～4月の主な取り組み・日生協・行政含む)

栃木県生協連  
2009年3月11日現在

- 3月17日(火) 13時半～、ふれあいコープ・特別養護老人ホームみどり・交流室  
名称 県連福祉事業委員会・研修交流会  
(神奈川生活クラブ生協が設立された社会福祉法人  
いきいき福祉会小川泰子専務理事の講演)  
主催 栃木生協連  
対象 福祉事業委員会関係者と希望者
- 3月18日(水) 10時～、パーティ・1階ホール  
名称 食と農を考えるフォーラム2009  
(講師 平野レミさん他)  
主催 JA栃木グループ  
対象 希望者(参加費千円、事前の参加申し込みが必要)
- 3月24日(火) 10時～、栃木県庁・本館6階大会議室2  
名称 とちぎの森づくりCSR活動支援セミナー  
主催 栃木県  
対象 希望者
- 3月24日(火) 13時半～、栃木県司法書士会館・3階会議室  
名称 とちぎ消費者ネットワーク「全体会」  
主催 栃木生協連  
対象 とちぎ消費者ネットワーク関係者と希望者
- 3月26日(木) 13時半～、とちぎアグリプラザ・3階共用会議室  
名称 地産地消を考える会  
主催 地産地消を考える会  
対象 地産地消を考える会関係者と希望者
- 4月 2日(木) 14時～、日本生協連・コーププラザ(渋谷)4階会議室  
名称 日本生協連・地区別(中央地連)代議員会議  
主催 日本生協連  
対象 日本生協連会員代議員と傍聴者
- 4月 7日(火) 10時～、とちぎ福祉プラザ・4階403会議室  
名称 栃木県生協連・暮らし部会  
主催 栃木県生協連  
対象 暮らし部会関係者